



ハウス内に設置した駒木の様子



タラの芽の新芽

我が町農業の日常 No.3

— ハウスを使っでの冬期間の農業 —

冬期間の農業の一つとしてタラの芽の促成栽培が行われている。タラの芽の促成栽培は、生育に必要な温度や水分を細かくコントロールし、山菜の時期よりも一足早い季節に収穫、出荷する栽培である。タラの芽については、降雪前に畑で育てた「タラの木」(穂木)を一度収穫し、その穂木を芽がつくように短く切断したものを更にビニールハウスに入れ冬期間栽培し、その新芽を収穫し出荷している。

※今期は、林業・農業・商業・工業を1年ずつ取り上げ、その日常を紹介していきます。

もくじ

全員協議会	3 P
12月定例会	4～5 P
一般質問	6～10 P
常任委員会報告	11 P
11月臨時会	12 P
1月臨時会	13 P
町民の声・ギインコラム	14 P



穂木を切断し駒木を作る作業

「穂木を芽がつくように10cm程度ずつに切断したものを駒木と呼び、この駒木をハウスの中に設置し、温度と水を与え「春」のような環境をつくりだす。

